

数理・データ科学教育研究センター【データサイエンス】

プログラム名	和文	データサイエンス（マルチリンガル・エキスパート養成プログラム）			
	英文	Data Science (Multilingual Expert Program)			
開設センター	数理・データ科学教育研究センター				
履修対象者	修士				
修了要件	修了要件単位数 8	単位以上	修了要件（単位数以外の修了要件がある場合） 本大学院プログラム科目から8単位以上修得すること。ただし選択必修科目から2単位以上を含めること。また、学部と大学院の両方にクロスリストしている選択必修科目の単位を学部で修得した場合、1科目2単位を上限に修了単位に算入することができる。		
趣旨・概要	「マルチリンガルエキスパート養成プログラム」は、多言語に精通し、現代世界の喫緊の課題に取り組む専門的な知識を備え、グローバルに活躍できる人材を養成することを目的とする部局横断型教育プログラムである。本プログラムは、そのうちの大学院生向けプログラムとして実施するもので、プログラムに登録した学生に対して、学際融合・社会連携を指向した双翼型大学院教育システム（Double-Wing Academic Architecture）に則り、異なる学問・研究分野からなる複合領域を学修できるよう、学際融合教育科目、人文学研究科、人間科学研究科のデータサイエンスに関する専門科目で構成されたプログラムを提供する。これにより、データサイエンスに通暁し、計量的手法を有効に用いて人文社会分野の研究を遂行できる人材を育成することを目指す。				
到達目標 (修了時に身につく能力)	本プログラムでの学修を通じて、以下の能力を備えた学生に修了認定証を授与する。 ①データサイエンスについて十分な研究能力を備えている。 ②高度の専門性が求められる職業を担うための能力を十分に有する。 ③異なる分野にも視野を向け知的地平を広げる。 ④新たな知識や技術の組み合わせを試みる創造的な活動ができる。				
カリキュラムの構成	上記の到達目標（修了時に身につけるべき能力）を達成するために、本プログラムでは、基礎工学研究科、学際融合教育科目、人文学研究科、人間科学研究科が開講する科目の中から、データサイエンス、機械学習および言語／テキスト処理などの基礎をしっかりと固められる科目群を提供する。				
履修資格・条件	<p>【履修対象】 令和8年4月（10月入学の場合は、令和7年10月）に、人文学研究科博士前期課程の言語文化学専攻、外国学専攻、日本学専攻応用日本学コースのいずれかに入学する（した）者。</p> <p>【定員】若干名 【選考】マルチリンガル・エキスパート養成学部プログラム、「数理・データサイエンス・AI」の修了生以外は選考の上、履修生を決定する。</p>				
前提知識の目安	特になし。				
特記事項					
ホームページ 申請先など	ホームページ： https://mle.osaka-u.ac.jp/ 申請先： multilingual@office.osaka-u.ac.jp				